

## 横浜市3動物園魅力向上基本計画検討業務委託に関する業務説明資料

### 1. 件名

横浜市3動物園魅力向上基本計画検討業務委託

### 2. 履行期限

契約締結日から令和9年3月31日まで

(委託契約は単年度ごとに行い、前年度の履行内容が良好と認められること、予算が議会で議決され配当されることを条件として、翌年度の契約を行う。令和7年度の履行期限は、令和8年3月31日まで。)

### 3. 委託対象

横浜市3動物園及び周辺エリア

- ・よこはま動物園ズーラシア（旭区上白根町1175-1）
- ・野毛山動物園（西区老松町63-10）
- ・金沢動物園（金沢区釜利谷東5-15-1）

### 4. 業務目的

横浜市では、1951年の野毛山動物園の開園を皮切りに、金沢動物園（1982年）、よこはま動物園ズーラシア（1999年）と、3つの特色ある動物園を設置・運営してきました。現在では、3園で年間約170万人が訪れ、子どもたちをはじめとする市民の憩いと学びの場として定着している。

近年、これまでの動物園を超えた新たな役割が求められている。生物多様性の損失を回復に転じさせる「ネイチャーポジティブ」の実現に向け、飼育・繁殖を通じた種の保全に加え、国内外での環境教育、地域や世界の自然環境保全への貢献なども社会的要請となっている。

動物園は都市観光の核としての役割も担っており、訪れる人に「ここにしかない」特別な体験を提供し、横浜の魅力向上に貢献することが期待されている。

こうした社会的要請に応えるため、横浜市の3つの動物園が連携し、それぞれの特色を生かして進化を続ける必要がある。

本業務は、よこはま動物園ズーラシア、金沢動物園、野毛山動物園及び周辺施設の現況調査や既存資料の精査、他都市事例の収集を行い、それらの諸条件を整理した上で検討資料の作成を行い、横浜市3動物園魅力向上基本計画の策定を目的とする。

なお、基本計画策定にあたっては、3園の魅力向上の検討に加え、魅力向上に資する展示方法の検討等、持続的な動物園経営の視点を持ちながら3動物園それぞれの特性をふまえた計画を含むこととする。

## 5. 委託概要

＜令和7年度委託概要＞

### 【1】与条件の整理

以下の事項を基本として、「基本的な考え方」の整理を行う上で必要な情報を収集・整理する。

- ・3園の敷地および周辺環境の現況調査（自然・社会条件、交通動線、施設配置等）
- ・3園の来園者の動線、施設利用・来園者の過ごし方の分析
- ・横浜市の上位計画、各園の過去計画、関連政策、関連団体資料等の収集・整理
- ・国内外の先進的な動物園や、観光にぎわい施設のリニューアル事例等の調査  
(特に収益性、経営改善に寄与した事例を重点的に分析)
- ・国内外の魅力的な展示手法及び収益性の高い施設運営手法の調査
- ・国内外の持続的な動物園経営に資する集客プログラムやプロモーション等の調査
- ・有識者ヒアリングの実施（例：動物園経営、マーケティング、観光、マネタイズの専門家等）

### 【2】基本的な考え方（共通理念・ビジョン）の検討

【1】与条件の整理 にて収集・整理した情報を踏まえ、動物園の魅力向上策を展開するまでの基本的な考え方を検討する。基本的な考え方については、次の内容を含むことを想定している。

- ・動物園を取り巻く社会的背景（動物福祉、種の保全、環境教育など）
- ・現代の動物園として求められる機能やこれらの役割
- ・持続的な動物園経営のための将来を見据えた各園のターゲット層の設定
- ・魅力向上計画の根幹となる共通理念やビジョンの策定（プランディング戦略）
- ・動物や環境についての魅力を伝え、学びを深めるための展示方法や教育プログラムのコンセプト

＜令和8年度委託概要＞

### 【3】魅力向上方針の検討

- ・以下の4つの機能について、令和7年度の委託成果をふまえた魅力向上方針を検討する。

なお、検討にあたっては短中期的な取組と、長期的な取組それぞれ整理するものとする。

- (1) 動物展示機能：種の保全、動物福祉、飼育環境の改善、誰もが見やすく魅力的な・没入感のある展示手法等
- (2) 教育・学習機能：展示と連携した環境教育プログラム、学習プログラム、インターネットリテーション、学校連携の強化策等
- (3) 来園者サービス機能：動線計画や移動手段の充実、バリアフリー、気候対応（酷

暑・酷寒)、休憩施設、案内表示などの改善方針、都市観光資源としての価値の向上、各種媒体を活用した情報提供等

- (4) 管理運営機能：運営者の共通理念の浸透やホスピタリティの向上に向けた施策、  
経営的な視点を踏まえた持続的な動物園運営に資する取組

#### 【4】プロモーション計画

ビジョン、魅力向上方針を踏まえたプロモーション施策を検討する。

#### 【5】インフラ・施設計画

ビジョン、魅力向上方針の実現に必要なインフラ・施設計画を検討する。対象はよこはま動物園及び金沢動物園とし、過年度の委託成果も活用すること。また、両園は、全体的な再整備ではなく、施設整備効果の高い範囲を抽出して再整備・改修することを想定している。

#### 【6】基本計画の策定

令和7年度の委託成果及び【3】【4】【5】で策定・検討された理念・ビジョン・方針に基づき、3園の共通のブランドとしての基本計画を作成する。

### 6. 業務内容

上記構成に基づき、以下の作業を行う。

- ・現地調査、ヒアリング（関係者・職員・民間事業者、有識者、専門家等）
- ・来園者の行動観察調査（エリアを絞った定点観察）
- ・資料収集（発注者が提供する過年度の成果品含む）・文献調査・事例分析（経営・収益性に関する視点を含む）
- ・中間報告（令和8年9月頃）・成果報告（令和8年3月、令和9年3月頃）の実施（短中期的な取組は令和8年9月頃を目途にとりまとめること）
- ・予算計画、スケジュール作成の支援
- ・庁内説明資料の作成支援
- ・魅力向上基本計画の作成
- ・魅力向上方針に沿ったペースの作成（4～5点程度）

### 7. 成果物

以下について、印刷物（A4 または A3）1部、電子データ（Microsoft Office 等により編集可能なデータも併せて格納すること）を提出する。

- ・横浜市3動物園魅力向上基本計画：製本1部及び電子データ（Microsoft Office 等により編集可能なデータも併せて格納すること）

- ・ ヴィジュアルアイデンティティ・ガイドライン：製本1部及び電子データ（Microsoft Office等により編集可能なデータも併せて格納すること）。計画には、収集・整理・分析した成果の要点も盛り込むこと。
- ・ 横浜市3動物園魅力向上基本計画概要版：印刷物1部及び電子データ
- ・ 報告書

## 8. 留意事項

以下を踏まえたうえで提案を行ってください。

- ・ 各園の個性や立地条件を踏まえた上で、横浜市の都市魅力となる3園一体としての価値創出を重視すること
- ・ 3園それぞれの現場職員・関係者との丁寧な対話・共創プロセスを重視すること
- ・ 子どもから高齢者、外国人観光客など多様な利用者像に配慮すること
- ・ 環境政策、教育政策、観光施策など、他分野との連携を意識した計画とすること
- ・ 経営的な視点を持って持続的な動物園運営に繋がる提案とすること
- ・ 経営的な視点については、専門家や有識者からの意見も十分に取り入れた計画とすること
- ・ 検討にあたり、3園の以下の前提条件に留意すること

野毛山動物園：令和5年度にリニューアルプランが策定されているため、原則、既存プランを踏襲

よこはま動物園ズーラシア：現状の展示施設や休憩棟などを活かしながら、魅力的なプログラムの充実等、ソフト面を中心に検討する。なお、一部、展示施設や休憩棟、広場の改修も想定している。

金沢動物園：施設の老朽化もみられることから、現状の展示施設や休憩棟、広場などの改修等を想定するとともに、魅力的なプログラムの充実等、ソフト面も含めて検討する。

## 9. その他

- ・ 業務上知り得た情報及び成果物について、委託者の了承を得ずにこれを使用、第三者への提供又は公表をしてはならない。
- ・ この仕様に定めのない事項、又は疑義が生じた場合の解釈については、両者協議の上、監督員の指示に従うこと。
- ・ 成果品はすべて横浜市に帰属するものとする。